

## VFM 簡易計算ソフトに関する Q&amp;A について (その 2)

VFM 簡易計算ソフトについて頂いたご質問を Q&A 形式でまとめましたので、お知らせします。

- ① 現状のデフォルト値で想定されている平均的な事業期間は何年程度か。  
→検討する事業の特性（維持管理サービス対価の大小、維持管理段階での削減がどれだけ見込めるか等）によって最適な事業期間は異なりますので、事業期間のデフォルト値については想定しておりません。
- ② デフォルト値を修正した場合、初めに設定してあった数値がわからなくなるので、別シートにデフォルト値一覧が欲しい。  
→入力欄左側にある「※」をクリックしていただくとデフォルト値とその解説が表示されますので、ご参考ください。また最後のシートに「用語説明」があり、そこでも同様の説明を記載しておりますのでご確認ください。
- ③ 〔計算の実行〕後に再度計算をする場合は「基本入力情報」シートを選択し前提条件を変更と記載しているが、「基本入力情報」シートに直接入力することで条件を変更し、再計算することは可能か。  
→再度計算を行う場合には「基本入力情報」シート右下のボタンから各入力シートを開き、入力値の変更を行ってください。直接シート上で入力値を変更した場合、一部正常に計算されない場合があります。(⑤参照)
- ④ 国交省所管事業とはどういう事業か。それ以外の事業の検討についても使用可能か。  
→「国交省所管事業」＝「当省所管の直轄事業（支出委任等による事業を含む）、補助事業（交付金を含む）、補助対象・交付対象となり得る事業、その他無利子貸し付け等支援措置の対象となり得る事業、及びこれらの事業と一体的に行われる事業、並びに当省所管の整備計画や認定制度等により位置づけられる施設を対象とする事業のうち、PFI法に基づき実施される事業」を指しています。ただしVFMを算定する段階において、国交省所管かどうかは問題ではないのでそれ以外の事業の検討にも本ソフトは使用可能です。
- ⑤ フォーム1の〔次へ〕実行後20秒以上かかる場合があるのは何故か。  
→（PCの性能にも因ると思いますが、）単純に入力値をシートに反映するだけではなく、計算を行っている部分がございますのでご了承ください。

⑥ 感度分析の実行により施設整備費用と維持管理費用の削減率がともに自動計算の最終値の20%が残り、算定結果もその数値での結果になっているため、感度分析後も最初に入力した削減率とその結果を残して欲しい。

→計算のシステム上、自動計算の最終値として20%が残ってしまうのは変更できません。感度分析を行う際にはご注意ください。